

OZUNET

おづねっと

2026年4月1日

院長就任

田口 晴之

2026年4月号



地域医療連携室からお知らせ

院長就任 田口晴之 たぐち はるゆき

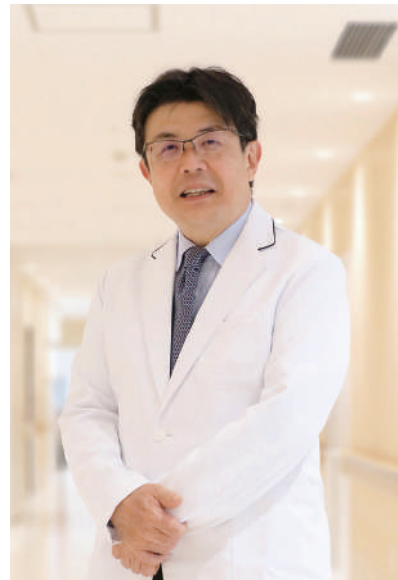
日頃より地域の先生方には格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
このたび2026年4月1日付にて院長を拝命いたしました。

泉大津急性期メディカルセンターは、2024年12月1日の開院以来、救急医療・がん医療・災害医療の三本柱を軸に、地域医療の充実に努めてまいりました。

おかげさまで、ご紹介患者さんも着実に増加し、地域における急性期医療の役割を果たす機会が広がっております。地域医療支援病院の再取得や重症患者の受け入れ体制の充実なども、ひとえに先生方との連携の賜物であり、深く感謝申し上げます。

一方で、物価高騰などにより急性期医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、2026年度診療報酬改定におけるプラス改定など、明るい兆しも見えつつあります。

引き続き、これまで以上に地域の先生方との連携を大切にし、高度急性期医療機関として、安心してご紹介いただける体制の充実に努めてまいります。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



特命院長就任 竹内一浩 たけうち かずひろ

このたび、泉大津急性期メディカルセンターの特命院長を拝命いたしました。当院は、まだ誕生して間もないですが、地域の急性期医療を支える中核病院として、救急医療や高度医療の分野における確かな歩みを積み重ねてまいりました。これもひとえに地域の先生方のご理解とご支援をいただいたおかげであり、改めて感謝申し上げます。

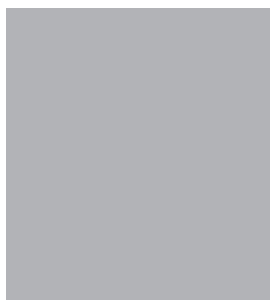
特命院長としての私の使命は、この病院の持つ力を最大限に引き出し、「地域にとってなくてはならない存在」として次の時代にふさわしい形へと進化させていくこと、そして、地域の医療機関との連携をさらに深め、より質の高い医療を提供できる体制を構築することと認識しています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



4月赴任の役職医師



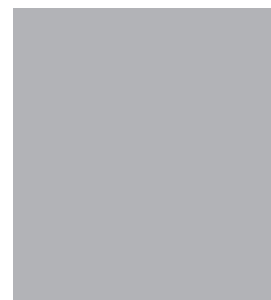
生長会 泉州地区救急集中治療センター
統括センター長 溝端 康光
みぞばた やすみつ



脳神経内科
部長 三野 俊和
みの としかず



整形外科
副部長 竹村 進
たけむら すすむ



皮膚科
副部長 大山 綾子
おおやま あやこ



地域医療連携室からお知らせ

地域医療連携室の役職者のご紹介

このたび地域連携部長に就任いたしました、外科の大平豪と申します。
泉州地域におきましても高齢化が急速に進んでおります。病院だけでは、健康的な生活を守ることはできません。今後は地域の皆さんとさまざまな連携を図っていく必要があると考えております。
地域の皆さんから信頼される、より良い病院づくりを目指してまいります。また、泉州地域の健康を守り、安心して暮らせる地域づくりに尽力してまいりますので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。
病院や地域をより良くしていくためのご意見などがございましたら、どうぞ遠慮なくお申し付けください。



地域連携部

部長 **大平 豪**
おおひら こう

平素より、当院の地域医療連携に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、2026年3月16日付で、地域医療連携室室長を拝命いたしました田中雅樹と申します。

地域医療連携室は今年で3年目となりますが、これまで以上に顔の見える連携を大切にし、地域の医療機関の皆さんとともに、何よりも患者さんのために、地域医療体制構築に尽力してまいります。

今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地域医療連携室

室長 **田中 雅樹**
たなか まさき

このたび、地域医療連携室長補佐を拝命いたしました松田でございます。
平素より当院の医療活動ならびに地域医療連携に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。これまで企画室において病院経営に携わってまいりましたが、今後は地域医療連携室長補佐として、地域の医療機関および介護・在宅関係の皆さんとの連携を一層深め、地域医療のさらなる充実と発展に努めてまいります。微力ではございますが、地域の皆さんとともに、患者さんが安心して医療を受けられる地域医療体制の構築に尽力してまいります所存でございます。

今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



地域医療連携室

室長補佐 **松田 慎司**
まつだ しんじ

血圧、ちゃんと測ってますか？ —高血圧専門外来がもたらす “命を守る” 診療とは

当院では、高血圧専門医 2 名体制のもと、薬剤治療が難しい症例にも対応できる高血圧専門外来を新たに開設いたしました。

高血圧は「サイレントキラー」とも呼ばれるように、自覚症状のないまま進行し、心筋梗塞や脳卒中などの重篤な疾患につながるリスクをはらんでおります。今回の記事では、当院が提供する診療の特徴と、地域医療機関の先生方とのスムーズな連携についてご紹介させていただきます。

高血圧患者の 75%が“コントロール不良”？ 心血管イベント・寿命短縮を防ぐために不可欠な、 早期発見と継続管理

現在、日本国内の高血圧患者数は約 4,300 万人と推定されておりますが、そのうち目標血圧を達成している方はわずか 25%程度にとどまります。また、自身の高血圧に気づかず未治療の方が 30%以上存在するとされ、深刻な医療課題となっております。高血圧を放置することで、動脈硬化を基盤とした心筋梗塞・脳卒中・腎不全などを引き起こすリスクが高まり、平均寿命が 5~10 年短縮するとの報告もあります。そのため、早期発見と継続的管理が極めて重要といえます。



専門医 2 名体制 × 多職種連携 × RDN 導入で実現する、 高血圧治療の選択肢拡張

当院の高血圧外来では、次のような診療体制を整えております。

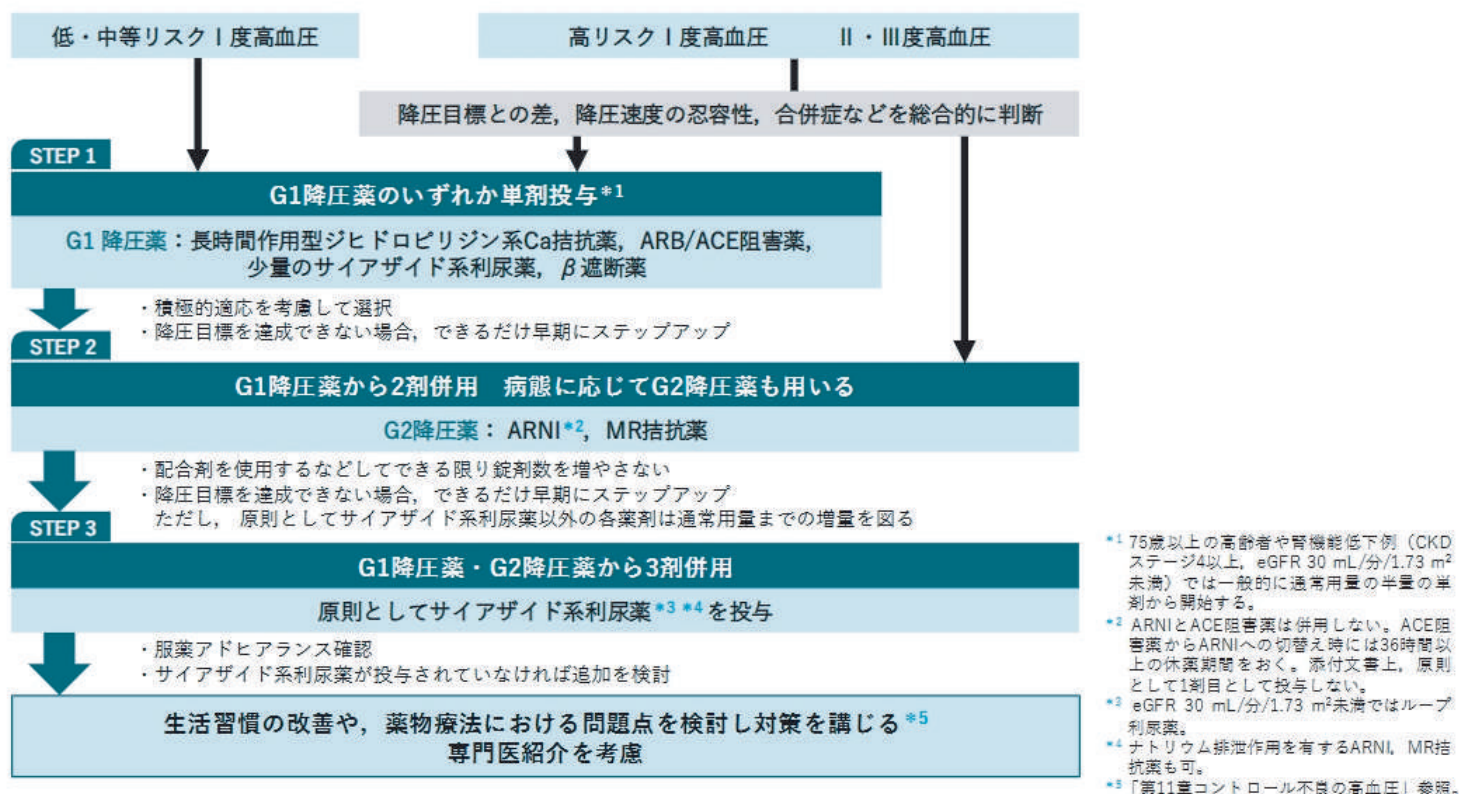
- 高血圧専門医 2 名が常勤し、難治例に対しても個別化治療を実施
- 生活習慣改善のためのチームアプローチ（管理栄養士・薬剤師との連携）
- 2026 年に日本で承認された腎デナベーション（RDN）による新しい治療選択肢の提供

3 剤以上の降圧薬を使用しても目標血圧に届かない難治性高血圧の方にとって、RDN は交感神経にアプローチする非薬物療法として注目されております。治療選択肢の幅を広げることで、患者さんの QOL 向上にもつながると考えております。

症例の具体例

症例	52歳 女性 【現病歴】 以前より高血圧は指摘されていたが、 家庭血圧は測定されていないため、不明であった。 自覚症状がないが、健診にて血圧が 200 mmHg 以上であり 当院に紹介となった。 【身長】 154 cm 【体重】 60 Kg 【来院時血圧】 210/120 mmHg 【危険因子】 喫煙 20本
検査	2次性高血圧も疑い、血液検査を行ったが異常なし。 同時に栄養指導を行ったところ塩分摂取は 6.5 g/day であった。
治療・経過	【栄養指導】 外食（弁当）が多く、塩分・野菜摂取の指導を実施した。 高血圧切迫症：ARNI+Ca拮抗剤開始（Step2） その結果 4週間後 家庭血圧が 150/80 程度まで低下 まだ血圧コントロールとしては不十分でありMRA拮抗薬追加 外来受診後 8週間後で 124/71 mmHg まで低下 今後はかかりつけ医に通院予定

高血圧に対する降圧薬治療STEP： 降圧目標を達成するための降圧薬の使い方



高血圧管理・治療ガイドライン 2025

ご紹介検討の目安と病診連携フロー

紹介のタイミングとしては、以下のような症例をご相談ください。

- 3種類以上の降圧薬を使用してもコントロール不良な方
- 高血圧に加え、心血管疾患や腎機能障害を合併している方
- ご高齢で、血圧管理の個別化が必要な方
- ライフスタイル改善がうまくいかず、お悩みの患者さん

安定化後はかかりつけ医へ速やかに「逆紹介」

当院では、血圧コントロールが安定した後はかかりつけ医の先生方のもとへ逆紹介し、継続的な治療をお願いしております。

高血圧の診療において、「ちょっと困ったな」と感じられた際には、ぜひお気軽にご相談・ご紹介いただければと思います。

高血圧外来



初診当日に心エコー検査

合併症リスクを見逃さず、精密な評価を実施いたします。



栄養指導も同日実施

食生活の改善を含め、生活習慣からサポートいたします。

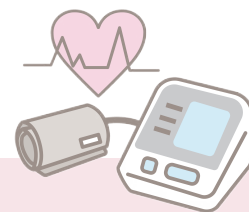


症状が安定後(約6か月前後)、逆紹介

症状が安定しましたら、かかりつけの先生へ診療をお願いいたします。

このような患者さんがいましたら、ぜひご紹介ください！

- 3種類以上の降圧薬を使用しても血圧が140/90mmHg以上持続する方
- 二次性高血圧(腎疾患、内分泌疾患など)が疑われる方
- 高血圧による臓器障害(蛋白尿・腎機能低下・左室肥大・動脈硬化)が見られる方
- 若年発症の高血圧の方(おおむね40歳未満)
- 突然の血圧上昇、または極端に変動が大きい方



	月	火	水	木	金
14:00 ~ 16:00		田口晴之 (循環器内科医)			

2026年4月1日現在

ご予約方法（患者さんの紹介方法）

- 1 診察・検査申込用紙【FAX用】にご記入ください。
（各種検査申込用紙はホームページからダウンロードしてご使用ください）
- 2 申込書を地域医療連携室へFAXしてください。
- 3 予約状況を確認し、予約をお取りいたします。
- 4 予約票をFAXで返送いたします。
- 5 予約票を患者さんへお渡しください。
当日予約票・診療情報提供書をご持参ください。

※お急ぎの場合はお電話でも対応させていただきます。

※予約状況により、ご希望に添えないことがございます。ご了承ください。

予約受付時間

月～金曜日 9:00～20:00まで

土曜日 9:00～17:00まで ※日曜・祝日を除く

Tel. 0725-58-8235 Fax. 0725-58-8238

泉大津急性期メディカルセンター 地域医療連携室

無料送迎バス

下記の送迎バスを運行しています（日曜・祝日は運行していません）。

- …「高石駅高架下→鶴山台バス停→鶴山台停留所」行
- …「泉大津駅→松ノ浜駅→泉大津森郵便局前」行
- …「和泉青葉台→和泉中央駅」行
- …「ベルランド総合病院（府中病院・ベルアンサンプル経由）」行
- …シャトルバス「当院→府中病院→JR和泉府中駅」行

※泉大津市運営の「ふれあいバス」北・中・南回り全コース停留いたします。

時刻表など
詳細はこちら



Address. 〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子 97-1

Mail. chiikirenkei@imc.seichokai.or.jp

病院WEBサイト



YouTube



Instagram



LINE



患者さんの紹介に関するご不明な点は、地域医療連携室までご連絡ください。

おづねっと Vol.14

発行日：2026年4月10日 発行責任者：院長 田口 晴之 編集責任者：地域連携部長 大平 豪 編集者：地域医療連携室